

埼玉県生協連 2019 年度第 4 回活動委員会

日時	2020 年 2 月 14 日（金）13 時 30 分～16 時 00 分
場所	埼玉県生協連会議室
出欠	別紙参照
次第	1.出欠報告（事務局）

■議題

専務理事あいさつ

I. 話したいこと

1. 2019 年度事業活動報告と 2020 年度事業活動計画(活動委員会版)	当日
2. 2020 年度の活動委員会会場について	当日
3. 各生協の 2020 年度活動計画についてのワーク	当日
4. 埼玉県生協連学習会・交流会等日程およびテーマ(案)一覧	事前資料 P 1- 3
5. 2020 年度年間日程(活動委員会版)	当日
6. 1-2 月活動報告書と各会員生協資料	当日

II. 日本生協連からの報告（中央地連）

III. 確認したいこと

1. 関東農政局との懇談について	当日
2. 埼玉新聞「生協特集」(2020 年 3 月予定)企画案	事前資料 P 4
3. 第 56 回埼玉県消費者大会実行委員会ご案内	事前資料 P 5- 6
4. 2/28 第 2 回組合員学習会ご案内 ^{再掲}	事前資料 P 7
5. 埼玉県生協連メルマガ「Information」(仮称)について	事前資料 P 8
6. 埼玉県生協連ホームページリニューアルについて(12/26 実施)	事前資料 P 9-10
7. 消費者アップ学習会 Vol. 3「高齢者施設の選び方」ご案内	事前資料 P11

IV. 報告したいこと

1. 業務報告	
(1) 埼玉県生協連 12・1 月度のまとめと今後の課題	事前資料 P12-17
2. 個別報告	
(1) 消費者被害防止サポーターの活動と市町村消費生活センターとの連携	事前資料 P18-24
(2) 組合員活動交流会報告(12/12)	事前資料 P25
(3) 助け合い活動交流会報告(1/17)	事前資料 P26
(4) JA 女性組織協議会との早春交流会報告(2/12)	当日
(5) 第 10 回九都県市合同防災訓練・図上訓練参加報告	事前資料 P27
(6) 県内消費者団体地区別研修会報告	当日
(7) ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会報告(2/5)	当日
(8) 埼玉県議会会派との懇談報告	事前資料 P28-29
(9) 2020 年度埼玉県食品衛生監視指導計画(案)に対する意見	事前資料 P30
(10) 平和のための埼玉の戦争展でノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会が開催する親子企画について	事前資料 P31-34
(11) 埼玉県食品安全局との懇談報告(1/30)	事前資料 P35

V. 報告したいこと②文書報告

1. 埼玉県生協連 2019 年度第 3 回活動委員会報告(12/12)
2. 埼玉県生協連 2019 年度第 4 回理事会報告(1/16)
3. 2020(令和 2)年埼玉県生協連新春賀詞交換会報告(1/16)
4. 活動日誌と予定

事前資料	P36
事前資料	P37
事前資料	P38
当日	

次回の活動委員会は、2020 年 4 月 16 日 13 時 30 分～

2019年度埼玉県生活協同組合連合会、埼玉県消費者団体連絡会、特定非営利法人埼玉消費者被害をなくす会関連

学習会・交流会等日程およびテーマ (案) 一覧

網掛けは実施済

2020年1月8日現在 埼玉県生協連

月	日時	学習会・催事名	位置づけ・対象	テーマ	会場
6月	26日(水) 19:00～21:00	さよなら原発埼玉県民集会 プレ学習会	主催:実行委員会 一般	地図から消される街 8年後 の福島避難者	浦和コミュニティセン ター
7月	3日(水) 10:30～13:00	第1回組合員学習会	主催:県連 組合員活動リーダー80人	子どもの貧困:シンポジウム 形式で生協・団体の事例報告	浦和コミュニティセン ター 第13集会室
	12日(金) 10:30～	第55回埼玉県消費者大会 プレ学習会	主催:実行委員会 消費者団体100人	憲法を学ぶ 弁護士 伊藤真さん	市民会館うらわ705・ 706
	7/27(土)～29(月)	平和のための 埼玉の戦争展	主催:実行委員会 一般		浦和コルソ 7F ホール
8月	27日(火) 10:30分～ 15:00	県内消費者団体 全体研修会	主催:消団連 消費者団体100人	コミュニケーション力アップ 学習	埼玉会館ラウンジ
	28日(水)	消費者力アップ学習会	主催: 一般	「キャッシュレスの時代!信 用格差が生まれる??」	浦和コミュニティセン ター 第13集会室
		適格消費者団体受託事業 不当表示の見分け方講座	主催:埼玉県 一般	消費者力	4～5会場
10月	5日(土) 14:00～ 16:30	さよなら原発埼玉県民集会	主催:実行委員会 一般1000人	「忘れない、悲惨なフクシマ 事故」小出裕章さん	市民会館おおみや大ホ ール
	10日(木) 10:30～12:30	埼玉県消費者大会 記念講演	主催:実行委員会 消費者団体・一般1000人	「SDGsを自分ごと化して、暮 らしを見つめなおそう!」	埼玉会館大ホール 小ホール、ラウンジ他

	13:30~15:30	同分科会	4テーマ	食、消費者課題、防災・減災、環境	
11月	21日(木) 13:30~15:30	埼玉県委託事業 役職員研修会	主催：埼玉県 会員生協役職員 60人	日本生協連の福祉政策+2030 年ビジョン	浦和コミュニケーション ター第13集会室
12月	2日(月)	消費者力アップ学習会 Vol.2	主催：埼玉消費者被害をな くす会 一般	キャッシュレス決済と利用時 の注意点	浦和コミュニケーション ター第13集会室
	12日(木) 10:30~ 14:30	埼玉県委託事業 組合同員活動交流会	主催：県連 組合同員活動リーダー100人	楽しい会議のすすめ方、共通 認識の作り方	市民会館うらわ705・ 706
1月	17日(木) 10:30~ 14:30	埼玉県委託事業 助け合い活動交流会	主催：県連 助け合い活動のコーディネート リーダー、活動に関わる理 事・役職員等 60人	報告①事例報告 ②しくみ報告 活動交流	浦和コミュニケーション ター第15集会室
2月	20日(月) 28日(火) 7日(金) 10日(月)	県内消費者団体 地区別研修会	主催：消団連 消費者団体各 60人	プラスチック問題について学 ぶ、ワークショップ含む 講師 (一社) JEAN 小島あずささん 吉野美子さん	熊谷市男女共同参画推進センター コーププラザ春日部 東武バンケットホール上尾 東上パールビルザンズ川越
	12日(水) 10:30~ 14:00	JA 埼玉県女性組織協議会 との早春交流会	主催：協同組合同提携協 組合同員活動リーダー25人	女性視点で防災・減災につい て考える ワークショップ形 式 講師 坂田静香さん	こくみん共済 coop 会議室
	28日(金) 10:00~ 11:50	埼玉県委託事業 第2回組合同員学習会	主催：埼玉県 組合同員活動リーダーおよび 役職員	「SDGs の国内展開とプラスチ ック問題」(仮) 講師 田崎智宏さん	浦和コミュニケーション ター第15集会室
3月	3月2日(月) 10:00 ~12:00	消費者力アップ学習会 Vol.3	主催：埼玉消費者被害をな くす会	高齢者施設の選び方 ~お 金、契約、入居後のトラブル	浦和コミュニケーション ター第13集会室

			一般	防止のために～ 講師 介護・ 暮らしジャーナリスト 太田差恵子さん	
随 時		適格消費者団体受託事業 消費者被害防止サポーター 養成講座	主催：埼玉消費者被害をな くす会 一般	1/22 (水) 横瀬町 1/24 (金) 小川町 1/27 (月) 医療生協さいたま 2/10 (月) 小川町 2/14 (金) 鳩山町	

活動委員会報告・交流テーマ

4月4日 (木)	埼玉県のことども貧困対策学習と会員生協の取 り組み交流		
5月30日 (木)	会員生協の年間の学習会・研修会計画の交 流、県連計画との連関を考える		
8月22日 (木)	新メンバー、アイズブレイク、		
10月17日 (木)	上期の活動まとめ報告と交流		
12月12日 (木)			
2月14日 (金)			
4月16日 (木)			

埼玉新聞「生協特集」(2020年3月出稿)企画について

2019年12月26日 埼玉県生協連

2020年1月15日加筆

1. 提案の趣旨

- (1) 生協特集は、1999年より埼玉新聞を活用し、実施してきました。今年で22年目を迎えます。埼玉県生協連および会員生協の「社会への発信」を实践する場として、今年も継続して実施します。
- (2) 昨年の生協特集では、日本生協連の「コープSDGs行動宣言」を中心にすえ、SDGsの目標ごとに会員生協の取り組みを掲載し、取り組みをアピールしました。今年もSDGsの目標に沿って、会員生協の取り組みを掲載し、埼玉県内での生協の存在価値を発信します。SDGsの目標のうち、地域社会づくりに関する取り組みに特化して掲載、発信します。

2. 提案の内容

(1) テーマ (案)

誰ひとり取り残さない社会を目指して

～地域社会づくりへの埼玉の生協の取り組み～ (仮)

(2) おすすめ方

「地域社会づくり」に関する、おおむね以下の目標に即した活動を掲載します。



掲載項目については、①各生協1～3事例を提示ください

②提示いただいた事例で紙面を編集します

(3) スケジュール

2月10日(月)まで：各生協事例と画像をお寄せください

2月中末まで：掲載事例を検討し、紙面イメージを提案します

3月初旬入稿

3月中旬：校正にご協力ください

3月下旬：発行

3. 提案の補足

紙面：埼玉新聞広告特集 見開き (カラー)

掲載日：2020年3月中旬(予定)

費用：180万円(予定)

2020 年 2 月 吉日

埼玉県内 消費者団体 各位

埼玉県消費者団体連絡会

第 56 回埼玉県消費者大会実行委員会への参加のお誘い

立春の候、みなさんにおかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、例年、埼玉県の後援を受けて開催しております「埼玉県消費者大会」の第 56 回大会を、10 月 16 日（金）に埼玉会館にて開催する予定です。

この消費者大会は、埼玉県消費者団体連絡会が、毎年、県内の消費者団体などに呼びかけて、実行委員会を結成し、そこで全体会の講演やすすめ方、分科会のテーマやすすめ方などについて内容を協議、確認して開催しています。

今年も多くの方の参加で実行委員会を運営し、消費者大会がより充実した場になりますよう、貴団体の実行委員会への参加について、ご検討ください。

なお、例年実行委員会への参加について、3 月にご案内しておりましたが、今年は 1 カ月程度前倒し、下記の通り 3 月に実行委員会を発足し、開催にむけて話し合いをスタートする予定です。

第 56 回埼玉県消費者大会実行委員会概要】

- 第 1 回実行委員会を 3 月 27 日（金）に発足します。
- 4 月以降の実行委員会の開催については、第 1 回実行委員会で提案させていただきます。会場はさいたま市内を基本に開催する予定です。
- 大会の運営は埼玉県からの補助金を申請するとともに、参加団体からの分担金などで運営します。なお、第 55 回消費者大会の地域団体の分担金は 1,000 円でした。
- ご参考まで、第 55 回埼玉県消費者大会報告集を同封させていただきました。ご覧ください。

同封の返信用はがきで、実行委員会への参加等についてのご返事を、
3 月 4 日（水）までにご投函ください。

第 56 回埼玉県消費者大会を多くの団体のみなさんの参加で成功させたいと考えております。実行委員会へのご参加をお待ちしています。よろしくお願いします。

この件に関するお問い合わせは

埼玉県消費者団体連絡会（埼玉県生協連内）事務局・清水桂までお願いいたします

TEL 048-844-8971 FAX 048-844-8973

E-mail : shodanren@saitama-k.com

第56回埼玉県消費者大会

第1回実行委員会について

埼玉県消費者団体連絡会

第1回実行委員会の日程・場所は、次のとおりです。ご確認いただき、ご参加を検討ください。なお、同封の「返信用はがき」にて出欠のご返事をお願いします。

(3月4日までにご投函ください)。

1. 日 時 3月27日(金) 13時30分～15時30分(予定)
2. 会 場 浦和コミュニティセンター 第14集会室
(JR浦和駅東口 出口正面 浦和パルコ10階 コムナーレ)
さいたま市浦和区東高砂町11-1



第2回組合員学習会ご案内

2019年11月27日 埼玉県生協連

1. 提案の趣旨（目的）

- (1) SDGsを単なる課題としてではなく、本当に達成すべき目標としてとらえ、企業も含めた社会全体の変革と一人一人の行動の変革につなげることが求められています。中でも、深刻と言われているプラスチック問題の現状について学び、問題の本質を考える機会とする学習会を開催します。
- (2) プラスチック問題についての現状と今何をすべきかなど、広く共通認識を持てるような場とします。

2. 提案の内容

- (1) 日時 2020年2月28日（金）10時～11時50分
*当初提案した年間日程から変更になっています
- 会場 浦和コミュニティセンター第15集会室
- テーマ 「SDGsの国内展開とプラスチック問題」（仮）
- 講師 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター
循環型社会システム研究室室長 田崎智宏さん
- 対象 地域で組合員活動に関わり、運営・サポートをされている方
地域づくりなどをすすめている組合員のグループメンバーなど
役職員
- 定員 130人

3. 提案の補足

- (1) 当初、第2回組合員学習会のテーマは、第1回組合員学習会での「地域コミュニティや見守り、多世代が参加できる場づくり」報告会を受けて、現状の取り組みの広がりや学び、地域で先進的に子ども食堂や学習支援などに取り組む団体の講演を予定していましたが、プラスチック問題に関する学習会を要望する声があったことから、変更し、企画しました。
- (2) プラスチック問題については、第55回埼玉県消費者大会の環境分科会でも（一社）JEANの小島あずささんにお話しいただき、自分に何ができるか考える機会となりました。また、1月から2月に県内4会場で開催される県内消費者団体地区別研修会でも、プラスチック問題の講演とワークショップを行い、問題を自分ごととして認識し、これからの行動を変えるきっかけとしていきます。
- (3) 2月14日（金）までに、参加者について取りまとめていただき、事務局清水桂までお知らせください。

（参考）

- ・ 講師の田崎智宏さんは、2013年より日本生協連環境政策推進委員会（現・環境サステイナビリティ委員会・委員）学識委員をされており、11月に日本生協連が開催した「2019環境トップセミナー」で講演されています。

埼玉県生協連メールマガジン「Infomation」（仮称）について

2019 年 12 月 12 日 埼玉県生協連

2020 年 1 月 16 日加筆

1. 提案の趣旨

- (1) 埼玉県生協連の機関会議報告や各種取り組み告知・報告、会員生協の取り組みを主に掲載する「情報」を、2019 年度をもって紙媒体での発行を終了し、2020 年度より埼玉県生協連メルマガ「Information」として、毎月 5 日前後にデータ配信することとします。
- (2) 掲載内容は、月度のまとめ、会員生協の情報、県連からの各種報告・告知等です。
- (3) 掲載する会員情報については、現在の「情報」に掲載している会員生協（コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、医療生協さいたま）に限らず、全会員生協から取り組み報告（画像 1～2 点含む）をぜひお寄せください。これまでは紙面の都合により毎月 1 生協 1 件の掲載でしたが、共有したい案件が複数ある場合は、ぜひ案件を絞らずにお寄せください。フォーマットを用意しますので、そちらに収めてください。
- (4) これまで「情報」を発送していた以下の宛先に毎月 5 日前後にデータ配信します。会員生協あてには、現在月度のまとめを配信している県連理事・監事、活動委員会メンバーにお送りします。

2. 提案の補足

- (1) 紙媒体の埼玉県生協連「情報」は、毎月 550 部印刷しており、主な配布先は会員生協および他県連・日本生協連、埼玉県消費生活課です。
- (2) これまで「情報」1 月号（新年号）に埼玉県知事をはじめ、埼玉県議会議員団、友誼団体からお寄せいただいたメッセージを掲載していましたが、2021 年度からは、埼玉県生協連の通常総会に向けたメッセージ特集に切り替えていくこととします。会員生協代表のメッセージ掲載はなくなります。

（参考）

- ・ 情報の制作経費は年間 115 万円、発送経費は年間約 12 万円、合計約 127 万円。
- ・ 通常総会メッセージ集のみ発行すると約 20 万円です。
- ・ 「情報」発送先一覧

		送付部数
会員生協	2～220 部	407
都道府県連	各 1 部	50
日本生協連	3 部署	7
埼玉県消費生活課		3
埼玉消団連	5 団体	5
県連（予備含む）		75
		550

埼玉県生協連ホームページ改修と会員専用ページの運用について

2020年1月16日 埼玉県生協連事務局

1. 報告の趣旨

埼玉県生協連のホームページについて、2015年以降、改修をおこなっておらず、体裁やカテゴリなど、実態に合わせるが必要になりました。

また、紙媒体（情報等）の今後を考え、会員ページを新設することによりホームページの機能含めて整理し、必要な人に必要な情報をタイムリーに伝えられるよう進めていきます。現在の月度のまとめ送付など、添付データ量の制限によりメールでお送りできない場合にも、会員専用ページにデータアップすることでデータを取り出すことができます。改修ページは、12月末に本番アップしています。

2. 改修報告内容について

(1) トップページ改修

埼玉県生協連について、活動のご紹介、生協のご利用についてのタグ分けをしました。「写真ニュース」「資料室」などのバナーを設置しました。

(2) 活動カテゴリ分けの変更

県連活動（県連活動記事）、福祉助け合い（福祉関連記事）、平和（平和関連記事）、消費者力（なし）、環境・エネルギー（環境関連記事）、食の安全・安心（食の安全関係記事）、防災・減災（防災関連記事）、災害復興支援（なし）、協同組合連携（なし）、地域社会づくり（なし） *（ ）内はこれまでのカテゴリ名

(3) 会員ページの新設

会員生協メンバー限定の会員ページを設置します。（イメージは次ページ）

会員IDとパスワードでログインし、閲覧します。閲覧範囲は、県連理事・監事および活動委員会メンバーとします。組合員活動関連事務局等どの範囲まで閲覧するかは、会員生協で判断ください。

会員ページ掲載項目は以下の通りです。

- ・学習会等告知
- ・会議資料と報告
- ・学習会等資料と報告
- ・各種（集約）フォーマット
- ・月度のまとめ
- ・年間会議等日程表

(4) 改修費用について

約34万円です。*参考：年間運用費用約20万円





埼玉県生協連について



活動のご紹介



生協のご利用について

※ログイン後ページ

埼玉県生協連会員生協専用

学習会等告知

- 2019/11/11 案内 11/21埼玉県生協役職員研修会を開催します（申込締切11/15）
2019/11/11 案内 12/12組合員活動交流会を開催します（申込締切11/29）
2019/11/11 案内 2020/1/17助け合い活動交流会を開催します（申込締切12/20）
2019/11/11 案内 2020/2/12JA埼玉県女性組織協議会との早春交流会（申込締切2020/1/24）

2019年度

会議資料・報告

[理事会](#)
[監事会](#)
[活動委員会](#)
[災害対策委員会](#)
[大学部会等](#)

学習会等資料・報告

[組合員学習会](#)
[役職員研修会](#)
[組合員活動交流会](#)
[福祉助け合い交流会等](#)

各種報告フォーマット

[活動委員会用単協報告等](#)

月度のまとめ

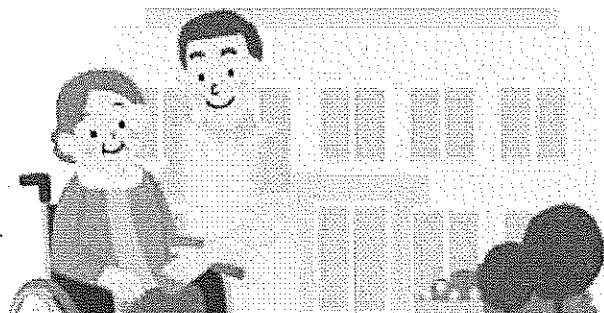
[2019年度6月](#) [2019年度7月](#) [2019年度8月](#) [2019年度9月](#) [2019年度10月](#) [2019年度11月](#)
[2019年度12月](#) [2019年度1月](#) [2019年度2月](#) [2019年度3月](#) [2019年度4月](#) [2019年度5月](#)

年間会議等日程表

2019年12月02日（月） 埼玉消費者被害をなくす会消費者力アップ学習会
2019年12月12日（木） 組合員活動交流会
第3回活動委員会

高齢者施設の選び方

(有料老人ホーム・老人保健施設・サービス付高齢者向け住宅・ケアハウス等)
～お金、契約、入居後のトラブル防止のために～



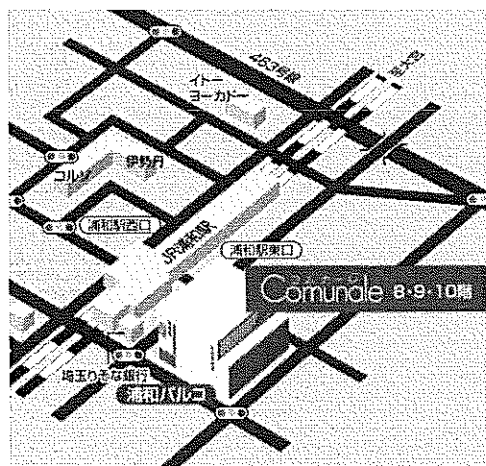
そもそも施設の種類とサービスの違いは何？
施設選びの時や、契約の時に注意することは？
高齢者施設のトラブルって、どんなトラブルがあるの？
いざという時に困らないために、早めに「施設」の情報を得ましょう！

2020年 **3月2日(月)**
10:00～12:00

講師：太田 差恵子さん

(介護・暮らしジャーナリスト)

浦和コミュニティセンター第13集会室



参加費無料

JR 浦和駅 東口徒歩1分 (浦和パルコ上 コムナーレ10階)

駐車場 あり (有料)

定員 80人 定員になり次第締め切ります

締切り 2月28日(金) 16時

主催 適格消費者団体 特定適格消費者団体

特定非営利活動法人

埼玉消費者被害をなくす会

必ずお申込みください

※留守電になっている場合があります。お手数ですが、おかけ直してください。

※止むを得ず欠席する場合は、必ず連絡してください。

《お申込み・お問い合わせ》 10時～16時(土日祝休み)

適格消費者団体・特定適格消費者団体 特定非営利活動法人 埼玉消費者被害をなくす会

TEL 048(844)8972

FAX 048(829)7444

埼玉県生協連 12 月度まとめと今後の課題

2020 年 1 月 7 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

1. 全体状況

(1) 2019 年度組合員活動交流会

12 月 12 日(木)、2019 年度組合員活動交流会を市民会館うらわで開催し、4 生協 54 人が参加しました。NPO 法人ハンズオン! 埼玉の西川正さんを講師に「楽しい会議のすすめ方」など、活動をすすめる上でのコミュニケーションスキルアップをはかることを目的とした研修と、日ごろの活動交流を行いました。※別紙 1

(2) 2019 年度第 3 回活動委員会

12 月 12 日(木)、第 3 回活動委員会を開催しました。話し合いでは同日に開催した組合員活動交流会のふりかえり、彩の国ドリームフェスタのふりかえりを中心に行いました。彩の国ドリームフェスタでは生協関係テナントを一体化させるクイズスタンプラリーは効果があったこと、また、次年度に向けては事前打合せの充実を確認しました。

(3) 2019 年度第 3 回常務理事会

12 月 26 日(木)、第 3 回常務理事会を開催しました。第 4 回理事会の議決事項の先議、理事会に付議する事項についての審議をおこないました。

(4) 2019 年度埼玉県協同組合間提携推進協議会代表者会

12 月 17 日(火)、JA 埼玉県中央会会議室にて 2019 年度埼玉県協同組合間提携推進協議会代表者会が行われました。代表者会では、各団体の取り組みについての報告が行われた後、意見交換と協同組合間連携の進め方についての意見交換を行いました。その中では、事務局会議を定期的を開催することや、引き続き学習の場を持つことについて確認しました。

(5) 埼玉県議会会派との懇談

生協への理解を深め、意見交換を行う場として埼玉県議会全会派との懇談会を進めました。12 月には 4 会派と懇談を行い、30 人の県会議員が参加しました。懇談の中では、生協の電気事業や子どもの貧困対策の取り組み、スーパーの撤退により発生した都市部中高層団地の買い物難民の問題、消費者被害防止サポーターをはじめとする地域の見守り活動などについて意見交換を行いました。※別紙 2

2. 分野の取り組み状況

(1) 食とくらしに関する取り組み

- ① 埼玉県食品安全局との懇談(1/30)のテーマは CSF(豚熱)、HACCP の取り組み、埼玉県食品衛生監視指導計画について、関東農政局との意見交換会(3 月)はゲノム編集をテーマに調整しています。
- ② 埼玉県生協連と医療生協さいたま共催のヘルスチャレンジ 2019 がいったん 12 月で終了し、12 月末時点での参加者は 962 人となりました(1 月にかけて引き続き集約中)。次年度はヘルスチャレンジの期間だけでなく、フレイル予防や減塩の取り組みと関連づけて実施することも検討します。
- ③ 12 月 11 日(水)、消費者被害防止サポーター第 2 回フォローアップ研修・交流会を飯能市で開催し、地区別 7 会場の開催がすべて終了しました。全体の参加者は、フォローアップ研修に合計で 138 人、交流会には合計で 126 人の参加がありました。※別紙 3
- ④ 適格消費者団体の取り組み(差止および被害回復)では、現在 1 件の訴訟が継続中です。書面による差止請求 2 件(累計 2 件)、申入れ 1 件(5 件)、お問合せ対応は 4 件

(7件)、検討中10件でした。被害回復の取り組みは、申入れ0件(1件)、お問合せ1件(2件)、検討中3件でした。

差し止め 訴訟	ディー・エヌ・エー	第10回期日が、2020年2月5日(水)13時15分さいたま地裁で行われます。判決言い渡しになります。
------------	-----------	---

※事業者への対応ステップ・・・お問合せ→申入れ→書面による差止請求(41条書面)→訴訟

(2) 平和・国際支援に関する取り組み

- ① 12月11日(水)、平和市民団体懇談会を開催して、第35回埼玉県原爆死没者慰霊式に関する話し合いなどを行いました。その中で、慰霊式を7月26日(日)に埼玉会館小ホールで行うこと、実行委員会結成を例年どおり3月に呼びかけて4月に結成することを確認しました。被爆75年に関わるイベントなどは、慰霊式との関連性も含めて、しらすぎ会で検討をすることになりました。
- ② 12月3日(火)、平和のための埼玉の戦争展の次年度に向けての話し合いが行われ、次年度の開催日程や内容についての話し合いを行いました。その中で、2020年の戦争展の開催日を7月22日(水)～24日(金)とすることを確認しました。

(3) 広報・コミュニケーション

- ① 情報1月号(新年号)、写真ニュース冬号を作成しました。
- ② 県連ホームページを改修し、本番アップしました。

3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

(1) 行政

- ① 12月26日(木)、日本生協連が全国の生協に呼びかけを行った「2019年台風19号被害緊急支援募金」から、埼玉県へ義援金として1,118万8,046円を寄付することになり、大野知事が参加して贈呈式が行われました。当日は、吉川会長理事より目録を贈呈しました。大野知事からは「被災地の復旧復興のために、大切にに使わせていただきます」とお礼のことばがありました。「2019年台風19号被害緊急支援募金」には全国156生協が参加し2億8,413万3,873円が集まりました。集まった金額は、被害状況にあわせて義援金として12都県に、支援金として4県5団体に配分される予定です。

(2) 埼玉消団連

- ① 12月19日(木)、埼玉消団連幹事会を開催しました。11月28日(木)に実施した埼玉県との懇談のふりかえり、県内消費者団体地区別研修会の分担、2020年度幹事会日程等確認しました。

(3) 諸団体

- ① 埼玉県協同組合間提携推進協議会の事務局会議を定期的に行うことについて、JA埼玉県中央会事務局と協議を行いました。次回の事務局会は1月10日(金)に行う予定です。4月～5月にかけて、協同組合や県内協同組織に向けた学習の場を設定できないか検討します。
- ② 12月11日(水)、さよなら原発埼玉県民集会実行委員会が開催され、県内団体交流会、県民集会に関するふりかえりと分担金、次年度の開催に関するを中心に話し合いを行いました。次年度は会場の確保を9月～12月で進めることになりました。

4. 今後の課題

- ・ 2019年度まとめと2020年度方針について、県連内部で集中討議を行いました。討議を受けて、2019年度まとめ(1次案)と2020年度事業計画(1次案)を作成し、今後の機関会議で協議を進めます。

- 生協の社会的価値を発信するために、次年度に向けて、会員生協の様々な活動の数値や状況把握を行います。
- 情報 2 月号の制作準備、紙媒体から PDF 配信への移行準備を進めます。
- 県連ホームページでの会員ページ運用を 1 月中に開始できるよう準備します。
- 残り 2 会派との県議会会派懇談を行い、生協の認知度アップを図るとともに地域を豊かにするための意見交換を行います。
- 1 月 16 日(木)に 2020 年新春賀詞交換会を開催します。そのための準備を進めます。
- 1 月 17 日(金)開催の助け合い活動交流会の準備を進めます。12 月末現在の参加者は、3 生協 33 人です。それぞれの助け合い活動の仕組みの理解を進めるための場とするために準備を進めています。更に多くの方の参加を呼びかけます。
- 1~2 月県内消費者団体地区別研修会の準備を進めます。海洋プラスチック問題を身近に感じられるように(一社)JEAN のワークショップなどを取り入れた内容で、貴重な機会です。県内の 4 つの会場(1 月 20 日熊谷、1 月 28 日春日部、2 月 7 日上尾、2 月 10 日川越)で実施します。各生協での組合員組織メンバーへの案内を重ねてお願いします。
- 1 月 28 日(火)に消費者被害の情報収集「110 番」を実施します。テーマは「あなたが経験した消費者『契約』トラブル、聞かせてください」です。組合員活動の場面などでの周知を引き続きお願いします。※別紙 4
- 3 月 2 日(月)に消費者力アップ学習会 Vol. 3「高齢者施設の選び方」を開催します。今後、機関会議でご案内を行いますので参加の呼びかけをお願いします。※別紙 5

埼玉県生協連 1 月度まとめと今後の課題

2020 年 2 月 7 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

1. 全体状況

(1) 2020(令和 2)年新春賀詞交換会

1 月 16 日(木)、埼玉県生協連への日頃のご厚情に感謝を伝えるとともに、出席者との懇談やネットワークづくりの場、会員生協への理解を広げ、生協の認知度をアップする場と位置づけて、2020(令和 2)年新春賀詞交換会を開催しました。大野知事をはじめ、各界を代表する皆様 64 人に出席いただきました。※別紙 1

(2) 2019 年度第 4 回理事会

1 月 16 日(木)、第 4 回理事会が開催され、議決事項として、埼玉県生協連第 49 回通常総会の開催日時、会場および付議事項の件を議決したほか、通常総会に向けたスケジュール、役員補充選任の進め方、2019 年度事業活動報告と 2020 年度事業活動計画、年間日程、規程類の一部変更と新設についての協議を行いました。

(3) 助け合い活動交流会

1 月 17 日(木)、浦和コミュニティセンターで 2019 年度助け合い活動交流会を開催し 3 生協 31 人が参加しました。各生協の福祉助け合い活動について、活動のしくみと活動事例について報告し合い、互いの活動を交流しました。交流する中で、担い手がない地域では、他生協の助け合い活動を紹介してはどうかなど、地域で連携していきたいとの声が多く寄せられました。また、活動交流会の定期開催や合同学習会などへの要望も出されました。※別紙 2

(4) 第 10 回九都県市防災訓練・図上訓練

1 月 21 日(火)、首都圏における大規模な災害発生に備え、九都県市が合同で実施した図上訓練に参加しました。当日は、設定された災害状況、被害状況にもとづき、情報収集や救助活動、物資調達などのシミュレーションを行いました。埼玉県生協連は、この訓練とあわせて、埼玉県からの物資発注への対応訓練を行いました。訓練からは埼玉県生協連として、会員生協の施設や備蓄資源などを具体的に知り、地図上で、どこに何があるかを把握しておく必要性を認識しました。※別紙 3

(5) 県内消費者団体地区別研修会

「プラスチックごみの現状を学ぶ～持続可能な社会を子どもたちに～」と題して(一社)JEAN の吉野美子さんにお話しいただきました。1 月 20 日熊谷会場には 15 人、1 月 28 日春日部会場には 29 人が参加し、海洋汚染問題の深刻さを自覚し、今自分にできることをすぐに始めないと大変なことになってしまうなどの感想が多く寄せられました。2/7・10 は吉野美子さんと小島あずささんによる講演とワークショップで、4 会場で約 100 人が参加する予定です。※別紙 4

2. 分野の取り組み状況

(1) 食とくらしに関する取り組み

① 1 月 30 日(木)、埼玉県食品安全局との懇談を 1 年 7 か月ぶりに開催しました。CSF(豚コレラ)について、HACCP に関する取り組みについて、埼玉県食品衛生監視指導計画についての 3 項目をテーマに懇談しました。食品安全局からは 7 人、消費者団体からは各生協からの 3 人含め 8 団体 9 人が出席しました。消費者からの質問にも丁寧に説明され、県の取り組みへの理解が広がりました。※別紙 5

② 埼玉県生協連と医療生協さいたま共催のヘルスチャレンジ 2019 が終了しました。全体で 1,280 人(紙ベース 1,223 人、WEB57 人)が参加しました。次年度はヘルスチャレンジの期間だけでなく、フレイル予防や減塩の取り組みと関連づけて実施することも

検討します。

- ③ 1月30日(木)、埼玉労福協・福島県復興支援員・富岡町復興支援員が主催した「3.11を忘れない埼玉集会 2020」が開催されました。埼玉県生協連は報告者として参加し、各会員生協の復興支援の取り組みや福島の子ども保養プロジェクトなどについて報告しました。
- ④ 消費者被害防止サポーター養成講座を県内3か所で実施。1月30日現在のサポーター登録者は県内全体で858人になりました。サポーター登録が0人の横瀬町、東秩父村、ときがわ町に配置することができました。
- ⑤ 1月28日(火)、消費者庁委託事業の一環として「消費者被害110番」を実施しました。当日は、弁護士、司法書士など法律の専門家6人が相談にあたりました。情報提供は2件でした(その内1件は検討委員会で検討)。テレビ埼玉の取材があり、当日2回放映されました。今回の取り組みをもとに今後に向けて、告知方法や開催方法などの検討を行います。
- ⑥ 適格消費者団体の取り組み(差止および被害回復)では、現在1件の訴訟が継続中です。書面による差止請求1件(累計3件)、申入れ0件(5件)、お問合せ対応は3件(11件)、検討中11件でした。被害回復の取り組みは、申入れ0件(1件)、お問合せ2件(5件)、検討中3件でした。

差し止め 訴訟	ディー・エヌ・エー	第10回期日が、2020年2月5日(水)13時15分さいたま地裁で行われます。判決言い渡しになります。
------------	-----------	---

※事業者への対応ステップ・・・お問合せ→申入れ→書面による差止請求(41条書面)→訴訟

(2) 平和・国際支援に関する取り組み

- ① 1月26日(日)、埼玉県原爆被害者連絡会(しらさぎ会)の新春のつどいが開催され、埼玉県生協連から2人が参加しました。被爆75年を迎える今年、被爆者の平均年齢が高くなっており、次世代への継承の取り組みの重要性を痛感しました。
- ② 1月15日(水)、平和のための埼玉の戦争展実行委員会総会が開催され、企画内容など話し合いが行われました。今年度の展示では、オリンピックと戦争を題材にした展示も検討することになりました。実施期間は7/22日(水)、23日(木・祝)、24日(金・祝)です。

(3) 広報・コミュニケーション

- ① 情報1月号、写真ニュース冬号を発行し、賀詞交換会等で配布しました。
- ② ホームページの会員ページの本番アップに向けて作業中です。

3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

(1) 行政

- ① 2019年度埼玉県と埼玉県生協連第2回定期協議の開催に向けて、日程調整を行っています。

(2) 埼玉消団連

- ① 1月10日(金)、埼玉消団連幹事会を開催しました。第56回埼玉県消費者大会の参加呼びかけと記念講演について、県内消費者団体地区別研修会のすすめ方について話し合いました。

(3) 諸団体

- ① 1月10日(金)、埼玉県協同組合間提携推進協議会の事務局会議を開催しました。4月～5月に計画している協同組合連携をテーマにした学習会のテーマ、参加対象などについて、話し合いを行いました。開催日については引き続き調整中です。
- ② 1月20日(月)、第4回25条埼玉県集会の実行委員会が立ち上がり、今年度の集会開

催のための話し合いが行われました。集会は7月23日(木・祝)埼玉会館小ホールで開催予定です。

- ③ 埼玉県フードパントリーの考え方等知るために、埼玉県福祉部にフードバンク埼玉として聞き取りを行い、フードバンクとの関係性について、特に各フードパントリーからフードバンク埼玉や各会員生協への支援要請の考え方などを共有しました。

4. 今後の課題

- 残り2会派との県議会会派懇談を行い、生協の認知度アップを図るとともに地域を豊かにするための意見交換を行います。
- 2019年度事業活動報告と2020年度事業活動計画の論議は引き続き、第4回活動委員会、第5回理事会で行います。
- 第49回通常総会に向けて、会員生協の様々な活動の数値や状況把握を把握します。
- 埼玉県生協連ホームページの会員ページ本番アップに向けて作業を進めます。またスマホ対応を進めます。
- 埼玉新聞生協特集(3月下旬掲載予定)のテーマはSDGsとして「地域社会づくり」の取り組みに特化して紙面を構成するよう準備を進めます。
- 2月12日(水)に開催するJA埼玉県女性組織協議会との早春交流会の準備を進めます。「地域力を高めて安心・安全な避難所運営 ～高齢者・障がい者・こども・女性など多様な視点に配慮する～」と題して、地域で協力し役割発揮できるようにします。
- 2月28日第2回組合員学習会の準備を進めます。現在28人参加申し込みを受けています。今後の活動に活かすことのできる内容ですので、職員含め広く参加を検討ください。
- 3月2日(月)に開催する消費者力アップ学習会 Vol.3「高齢者施設の選び方」の準備を進めます。今後、機関会議でご案内を行いますので参加の呼びかけをお願いします。
- 3月18日(金)、関東農政局と消費者団体との意見交換会が、テーマ「ゲノム編集」で開催されます。今年は定員が増え、グループ交流も予定されていますので、生協から20人程度参加いただきたくご検討ください。

【現在ご案内、集約中の取り組み一覧】

	名称・会場・定員	開催日	申込締切り
1	第2回組合員学習会 「SDGsの国内展開とプラスチック問題」 会場：浦和コミュニティセンター第15集会室 定員：130人 -現在、十分に余裕あり-	2月28日(金) 10時～11時50分	2月14日(金)
2	第25回JA埼玉県女性組織協議会との早春交流会 ● 集約は終了していますが、追加・修正などありましたらご連絡ください。	2月12日(水) 10時30分～ 14時30分	
3	消費者力アップ学習会 Vol.3 「高齢者施設の選び方」 会場：浦和コミュニティセンター第13集会室 定員：80人	3月2日(月) 10時～12時	2月28日(金)
4	関東農政局と消費者団体との意見交換会 会場：さいたま新都心合同庁舎(予定) 定員：消費者団体から30人(比較的若手の方)	3月18日(水) 13時30分～16時	2月28日(金)

消費者被害防止サポーターの活動と市町村消費生活センターとの連携

埼玉消費者被害をなくす会

1. 消費者被害防止サポーターとは

高齢者などを狙った悪質商法の増加に対応するために、地域の消費者被害防止サポーターが市町村や自治会、地域包括支援センターなどと連携し、被害の未然防止の啓発や早期発見、消費生活支援センター窓口へつなぐことを目的に活動するボランティアです。

2016年度から埼玉消費者被害をなくす会が「消費者被害防止サポーター活動推進事業」
として埼玉県より事業を受託し、2019年12月5日現在で821人が県に登録しています。

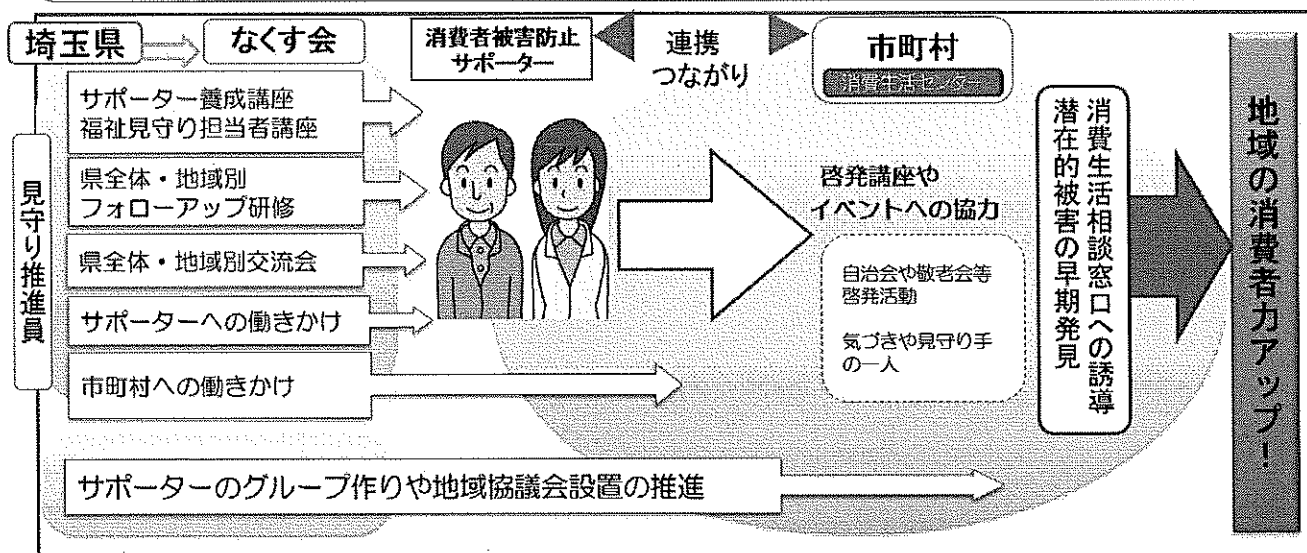
消費者被害防止サポーター制度の概要

高齢者などを狙った悪質商法の増加に対応するため、サポーターが市町村や自治会、地域包括支援センターなどと連携した活動を行うことにより、地域の消費者力を高め、消費者被害の未然防止や消費者被害の早期発見と消費生活相談窓口への誘導を図るための制度です。

埼玉県のこれまでの取組み

- 養成人員：2009年度（H21年度）から2015年度（H26年度）まで281人が登録しました。
- 活動支援：サポーターニュースなどの情報提供、フォローアップ研修・交流会の実施 など

2016年度（H28年度）より、養成講座、フォローアップ研修、活動の場づくりを「埼玉消費者被害をなくす会」が県から委託を受けました。「消費者被害防止サポーター」は養成講座を受講し登録した方が2019年（R1年）12月5日時点で821人となっています。



2. 埼玉県内の消費者被害防止の配置状況（別紙）

2019年度は、埼玉県内63市町村すべてにサポーターを配置することを目標に、県内の市町村、消費者団体と協力し、年12回消費者被害防止サポーター養成講座を開催する計画です。今年度は12月10日までに6回終了し、2020年1月から3月までに6回実施する予定です。

3. 市町村の消費行政とサポーターとのつながり

(1) 市町村訪問の推進とサポーター活動の情報提供

なくす会の推進員が埼玉県内63市町村すべてを訪問し、サポーター活動の認知度を高め、消費行政が行う啓発活動へのサポーターの参加や、サポーター自身が啓発活動を行う場の協力を要請する取り組みを進めています。

12月10日現在で、埼玉県内の半数を超える32市・町でサポーターとの連携が進み、サポーターと一緒に取り組む啓発活動（消費者展、祭り・イベント、駅頭などでの啓発）や、高齢者大学、出前講座などでサポーターによる寸劇での啓発の場を提供、サポーターが地域で活動するための啓発品や消費生活相談員からの被害手口の情報提供などが広がりました。

(2)消費者被害防止サポーターへのフォローアップ研修、交流会の実施

なくす会では、サポーターに登録した方を対象に地区別フォローアップ研修とサポーター交流会を各2回。全体研修と全体交流会を各2回開催しています。

2019年度上期の研修は「キャッシュレス社会の広がりと注意点を学ぶ」と題して、キャッシュレス決済のしくみと注意点、キャッシュレスに関する被害などを弁護士から学びました。

交流会では「市町村とサポーターの連携」をテーマにグループワークを行い、これまでに取り組んだこと、これから取り組んでみたいことを交流しました。

このフォローアップ研修、交流会には県内の市・町の消費者行政を担当する職員の皆さんが7会場で15人参加され、消費行政の状況報告とサポーターとの交流を実施し、その後のサポーターと一緒に取り組む啓発活動につながっています。

また、上期の全体研修では「契約とは」をテーマに、弁護士から法的な契約行為の成立や、消費者保護関連法の意義、クーリングオフにより契約解除、消費者契約法による契約の取り消し、無効などについて学びました。

全体交流会では、サポーターによるグループワークで啓発カルタの句を作成し、28首が出来上がり各グループから作成意図とともに報告しました。

下期の地区別フォローアップ研修では、「最新の消費者被害の手口を知り、消費生活センターにつなげよう」をテーマに、新たな被害の手口と消費生活センターの役割と機能を学び、グループワークでは消費者被害の手口の事例を基に、消費生活センターにどのようにつながたら良いかを話し合い、各グループから「ご近所さん役」「サポーター役」の掛け合いで報告し、啓発のポイントを共有しました。

地区別交流会では、上期の全体交流会でサポーターが作成した啓発カルタ28首を、なくす会が「啓発カルタ」として完成させ、サポーターのグループワークとしてカルタの活用の実践を行い、読み手が句を読み、取り札を取った人が句をもう一度読んで内容を説明し、注意点を伝えるという方法で進行させ、活用のしかたを学びました。

また、グループ交流ではサポーター活動事例の報告と質疑、身近で起きた消費者被害の手口の事例などを交流し、啓発活動の取り組みやグループの結成事例、手口の事例などを共有しました。

この地区別交流会にも3市1町から消費行政担当職員5名、相談員2名が参加し手作りカルタを活用した啓発について交流することができました。

(3)サポーター懇談会の開催

サポーターが1人で活動するには限界があることから、地域のサポーター同士が知り合いになり、活動の情報交換や一緒に活動できるきっかけづくりとして、サポーターに対し市・町の消費行政担当者からの呼びかけで、サポーター同士の顔合わせの会「通称サポーター懇談会」を開催していただくことを、なくす会から市町村に依頼し、11月末までに6市で実施しています。

サポーター懇談会では、市・町の消費行政担当者から啓発の取り組みや消費生活相談の状況などの報告と、サポーターから自己紹介、活動状況などを報告し、交流しています。

4. サポーター同士の新たなグループづくりと活動について

市・町が主体となって開催する「通称サポーター懇談会」や、なくす会が開催するサポーター研修、交流会を通じて、同じ地域のサポーター同士が協力して啓発活動を実施する取り組みや、グループづくりが見られるようになりました。

5. 市・町とサポーターが連携して取り組む啓発活動の事例

(1) 行田市サポーターの事例

行田市のサポーターと行田市の職員がフォローアップ交流会に参加し、市から啓発の場として260人が参加したシニアクラブの大会を紹介され、サポーター3人が点検商法の手口を寸劇で啓発しました。その後、このサポーターはフォローアップ交流会で知り合いになった、同じ地域のサポーターを誘い老人会の場で点検商法の手口を寸劇で紹介し被害への注意を呼びかけました。



(2) 美里町サポーターの事例

9月25日に初めてサポーター養成講座を開催した美里町では15人のサポーターが誕生しました。美里町の消費行政職員とサポーターが10月2日熊谷会場のサポーターフォローアップ研修、交流会に参加し、他市のサポーターの活動や熱意を目の当たりにした消費行政職員が、11月9日美里町商工祭での啓発活動にサポーターの参加を呼びかけ、啓発グッズを配布して消費者被害への注意を呼びかけました。



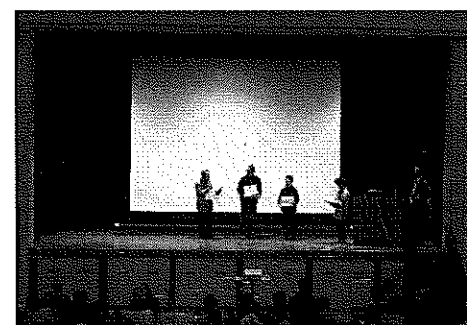
(3) 朝霞市サポーターの事例

朝霞市の消費行政窓口から啓発グッズのカレンダーの提供を受けたサポーター2人が、12月5日サロンに集まった高齢者48人に啓発カレンダーを配布し、振込め詐欺の手口などを詳しく紹介し注意を呼びかけました。



(4) 宮代町サポーターの事例

宮代町ではシニア世代の生きがいや、やりがいを見つける「みやしろ大学」を年8回開催しています。11月19日の第7回みやしろ大学では「消費者被害を防ぐには」のテーマで、なくす会からの講義の後、町から要請を受けたサポーター4人が参加し、点検商法の手口を寸劇で紹介し、被害に遭わないよう注意を呼びかけました。



(5) 戸田市サポーターの事例

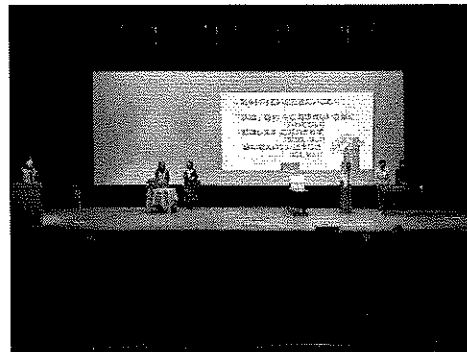
戸田市のサポーターから市と一緒に啓発活動を行いたいという意思を伝え、そのことを受け止めた市から消費者展の案内が届き、11月10日にサポーターニュースを来場者に配布し、サポーターの役割と消費者被害の事例についてお知らせしました。



6. サポーター同士のグループ化と啓発活動の取り組み

(1) 東松山市188の会の事例

東松山市のサポーター全員で結成した「東松山188の会」では、10月25日東松山警察署管内地域安全大会の場で、生活安全課の職員と一緒に架空請求の特殊詐欺について寸劇で手口を紹介し、注意を呼びかけました。



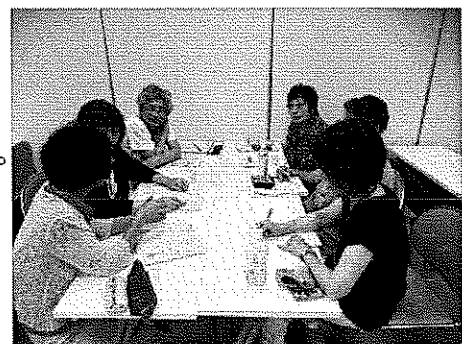
(2) 上尾市サポーターの会の事例

上尾市のサポーター有志で結成した「上尾市消費者被害防止サポーターの会」では、11月23日上尾市消費者展に出展し、消費者被害につながる悪質事業者の手口を掲示し、説明して注意を呼びかけました。



(3) 春日部188会(結成予定)の事例

春日部市の呼びかけで集まったサポーター同士が懇談会で初めて顔合わせし、その後フォローアップ研修の場で何度か交流する中で、6人が一緒に活動しようということで一致しました。現在、啓発内容の検討や寸劇による啓発を行う場を募集するPRチラシの作成を検討しています。

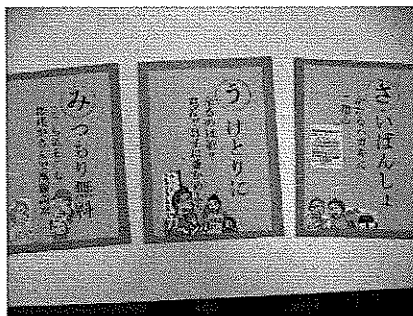


7. その他

(1) 啓発カルタの作成(28首)と活用について

今年度上期の地区別サポーター交流会で作成した啓発カルタ

下期の地区別サポーター交流会で実際に使い、今後の活用について共有しました。



市町村の高齢者見守りネットワーク・消費者安全確保地域協議会の設置支援

埼玉消費者被害をなくす会は、2016年度から、埼玉県からの委託事業として、上記「消費者被害防止サポーター活動推進事業」と並行して、「高齢者見守りネットワーク推進事業」を受託し、推進員4名を配置して取り組んでいます。

推進員は、県内63市町村に対し電話掛けや訪問により、消費者行政の実情の把握と高齢者見守りネットワークの必要性を伝えるとともに、消費者被害防止サポーターの役割や活動への理解を広げることを大事にしながら、見守りネットワーク・地域協議会の設置に向けた支援活動を行っています。

上記の消費者被害防止サポーターの活動支援の一環として、市町村の消費生活センターと地元サポーターのつながりを作り、消費生活センターの啓発活動を活性化する取り組みとともに、見守りネットワーク・地域協議会の設置支援を働きかけることで、市町村消費者行政における消費者被害防止の継続的な活動を作ることにつながっていると思われます。

(1) 埼玉県内の消費者安全確保地域協議会の設置状況

2019年度は県内63市町村のうち、これまでの14から30の市町村に協議会の設置が広がることが目標に、市町村訪問を推進しています。12月10日時点までに新たに6市で協議会が設置され、県内全体で20市・町に広がりました。

(2019年度設置 北本市・坂戸市・鶴ヶ島市・戸田市・所沢市・春日部市)

(2) 市町村の消費行政の状況について把握

- ①なくす会では県内63市町村すべてに訪問する際に、消費者からの相談体制や相談件数の状況、消費者被害に結びつく特徴的な事例や対応、福祉部門との連携や消費者被害などの情報共有についてお聞きしています。
- ②また、見守りネットワークの設置状況と構成組織、会議の開催頻度、消費者被害事例の共有などの運営状況をお聞きしています。
- ③また消費者安全確保地域協議会設置に向けた検討状況について情報収集し、すでに設置済の市・町に対しては設置を決めた経過、決定に向けて配慮されたこと、現状の運営や設置後にあった良かった事例などをお聞きしています。

(3) 消費者安全確保地域協議会設置の意義と設置に向けた提案

- ①市町村の状況をお聞きしながら、協議会を設置する意義について、高齢者を狙った消費者被害が拡大している状況を踏まえ、住民が安心して暮らせる地域づくりのために消費と福祉行政の連携が大事であること、必要に応じて特定の個人情報共有し、重点的見守りが可能であることなどを説明し、消費者安全法に基づく協議会設置を提案しています。
- ②既存の見守りネットワークの組織があり、消費行政部門の参加や情報提供が行われている場合は、要綱の一部改定や見守りネットワークの会議の場で消費者安全確保地域協議会に「移行」または「兼ねる」ことの意義を提案、確認し、議事録に残すことで設置することを提案しています。また、すでに設置した他市・町の要綱を参考として提供しています。
- ③既存の見守りネットワークの組織があり、消費行政以外が庶務を担い、消費行政の関わりが無い自治体に対しては、身体・生命の見守りに「消費者被害の未然防止」「早期発見」の視点を取り入れてもらえるよう、消費者被害の現状と住民のためにどう見守っていくべき

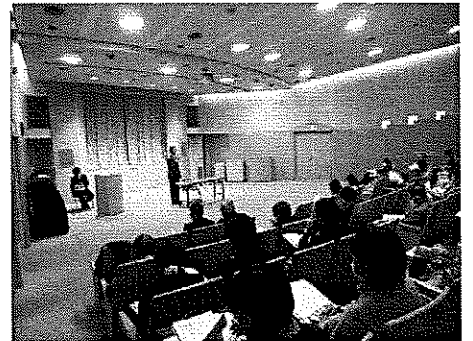
か、福祉部門と相談・調整していただくことや情報共有の促進、見守りネットワークの会議への消費部門の参加を依頼し、協議会への移行に向けた検討を提案しています。

その際、庶務や構成組織の負担感が増えないように、会議運営や情報提供のあり方、見守りツールなどを工夫していただくことをお願いしています。

- ④見守りネットワークが無い市町村や、既存の見守りネットワークの組織との調整が厳しい自治体は、既存の会議(地域ケア会議など)の活用や、新規で構成組織を検討する方向を提案します。
- ⑤すでに協議会を設置し運営している市・町から提供された情報で、参考になる事例があれば補足説明しています。

(4)消費者安全確保地域協議会設置に向けた支援事例

- ①宮代町への訪問で既存の見守りネットワークを活用し、消費者安全確保地域協議会に移行することについて理解が得られ、2019年2月27日の「宮代町要援護者見守りネットワーク会議」の場で、なくす会の統括員より消費者被害の実情や手口、行政と地域で一体となった見守りと地域協議会の重要性についてミニ講座を開催し、その会議の場で消費者安全確保地域協議会に移行することが確認されました。



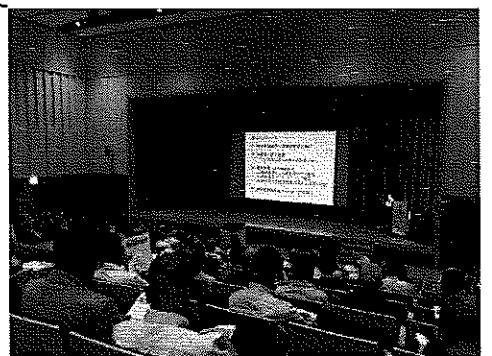
- ②戸田市では、消費者安全確保地域協議会の検討にあたり、2019年2月13日協議会の構成組織として想定している消費行政担当、福祉部門、防犯くらし安全課、地域包括支援センター職員の会議の場で、なくす会に協議会の意義や見守りにおける啓発や被害の早期発見、被害につながる手口などをテーマに講義依頼があり、推進員を講師にミニ講座を開催し、2019年10月1日の地域協議会設置につながっています。



- ③同様に坂戸市でも、消費者安全確保地域協議会の検討にあたり、協議会の構成メンバーとして想定している市民生活課、高齢福祉課、障害福祉課、福祉総務課、健康センター、地域包括支援センター、坂戸市区長会、坂戸市消費生活センターが参加した、「坂戸市見守りネットワーク研修」の場で、「地域の消費者被害を防ぐには～地域の見守りネットワークの役割」と題したミニ講座の依頼があり、2019年1月31日推進員が講師として講義を行い、2019年4月1日の地域協議会設置につながっています。【写真はありません】

(5)消費者安全確保地域協議会設置後の運営支援事例について

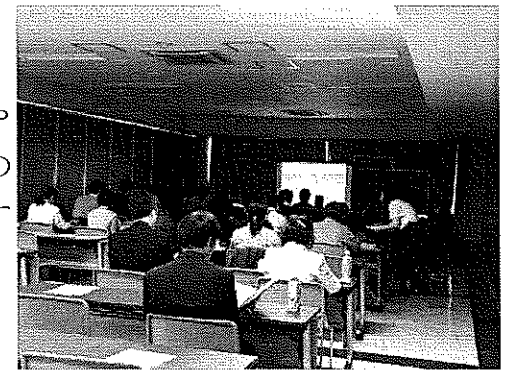
- ①坂戸市では2019年4月1日付けで消費者安全確保地域協議会を設置しました。なくす会で市を訪問した際に、協議会の構成メンバーに対し、福祉見守り担当者講座の開催を提案したことをきっかけに、2019年7月11日、協議会の構成メンバーの坂戸市区長会103人と福祉部門の職員7人の参加で福祉見守り担当者講座を開催しました。



②鶴ヶ島市では2019年4月1日付けで消費者安全確保地域協議会を設置しました。坂戸市と同様に、なくす会で訪問した際に、福祉見守り担当者講座の内容を説明したことをきっかけに、4月1日に設置した協議会の構成メンバーの自治会関係者、民生委員、ケアマネージャー、消防署員、介護事業所職員、生協、地域包括支援センター、健康福祉部、高齢者福祉課職員を対象に、2019年11月16日福祉見守り担当者講座を開催し、62人が受講しました。



③戸田市では2019年10月1日に消費者安全確保地域協議会を設置しました。なくす会が訪問した際に、第1回の地域協議会の中で、構成メンバーに対し個人情報の扱いや消費者被害に遭った方の重点的見守りなどを中心に講義の依頼を受け、2019年10月29日に埼玉消費者被害をなくす会理事長の池本誠司弁護士を講師に、福祉見守り担当者講座を開催し、協議会メンバー、市職員など26人が参加しました。

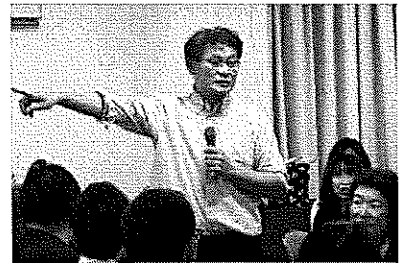


2019 年度組合員活動交流会報告

2019 年 12 月 26 日 埼玉県生協連

1. 報告の趣旨

- (1) 埼玉県生協連では、くらしに関わる様々な社会的課題について、生協として関わることの必要性、重要性を提起し、会員生協の取り組みにつなげることでできる組合員・役職員を対象とした学習会をおこなっています。今回の組合員活動交流会では、活動をすすめるうえでのコミュニケーションスキルアップをはかること、具体的には、組合員活動にかかわる「楽しい会議のすすめ方」と「共通認識の作り方」「合意形成のプロセス」について、ワークショップ形式で学びました。
- (2) 日時：2019 年 12 月 12 日（木）10 時 30 分～14 時 30 分
会場：市民会館うらわ会議室 705・706
講師：NPO 法人ハンズオン！埼玉 西川 正さん
参加：4 生協 54 人



2. 報告の内容

- (1) いくつかのアイスブレイクを実践しながら 6 人ごと 8 つのグループに分かれました。
- (2) 段ボール円卓をかこんで、「つまらない会議とは」などのテーマについて、ラベルに書きながら意見を交流しました。
- (3) 午後はグループ分けを変え、日頃の活動を交流、グループごとに発表し共有しました。医療生協さいたまから地域担当職員が複数参加されたことにより、日頃のグループ交流とは違った視点が生まれた、また、他の生協との交流の大切さを実感し、お互いの活動の相互理解が深まったとの声がありました。



3. 参加者の感想

- やってみたいと思ったこと
アイスブレイクで声を出しやすい環境づくり
ファシリテーターでなくてもできる工夫（うなづく、質問を装った説明など）
机の配置の仕方や会議をなごやかにスタートする工夫
いろいろな人が声を出せるようにする工夫（あめを配るとか）
ホワイトボードなどに書きだすのはわかりやすく、進行者 VS 参加者になりにくい
- 日頃困っていること
世代間のコミュニケーション（考え方が年代によって違う）
組織の課題と組合員のやりたいことのギャップをどうするか
参加者にはなっても、活動に関わるまでには至らないという共通の課題があった

4. 次回に向けて

一般的なコミュニケーション研修と活動を推進する組合員向けのコミュニケーション研修について、継続して開催することを検討します。

2019 年度助け合い活動交流会報告

2020 年 1 月 21 日 埼玉県生協連

1. 報告の趣旨

(1) 埼玉県生協連の各生協の福祉助け合い活動について、地域の中で助け合い活動に関わっている組合員・職員が集まり、互いの活動を交流する助け合い活動交流会を実施しました。生協の枠を越えて地域の中でつながりあいながら、助け合い活動や地域の見守り活動を充実させていくきっかけづくりの場と位置付けています。

(2) 日時：2020 年 1 月 17 日（金）10 時 30 分～14 時 30 分

会場：浦和コミュニティセンター第 15 集会室

参加：3 生協 31 人



2. 報告の内容

(1) はじめに、埼玉県生協連専務理事の吉川より、2000 年に策定された埼玉県生協連の福祉政策などに触れながら、生協の助け合い活動の意義や地域の見守り活動について、説明がありました。

(2) 次に、助け合い活動のしくみと実際の活動事例について、コープみらい、パルシステム埼玉、医療生協さいたまからスライドとパンフレットなどを使って、それぞれ説明がありました。自治体との関係づくりのためにどのような働きかけをしているか、組合員外でも援助を受け付けることにした経緯についてなど、質疑応答がありました。

(3) 昼食をはさみ、6 つのグループごとに活動交流をし、最後に各グループから交流内容について発表しました。



3. 振り返りシートから

参加者の感想

- ・ 高齢者の増加で援助依頼が増える中、担い手不足の中、持続可能な活動のためにはどうしたらいいか。
- ・ 女性を中心に男性の担い手がほとんどいない。男性に参加してもらうにはどうしたらいいか考えたい。
- ・ さまざまなニーズに、まず応えるという姿勢を感じました。
- ・ 悩みや考え方が一緒であることがわかってよかった。

一緒にとりくめると思ったこと

- ・ 援助活動の参考になる介護に関する学習会や講習会
- ・ 担い手のいない地域では、他生協のたすけあいの会を紹介する
- ・ 援助者同士のつながりで助け合いが広がるのでは
- ・ 地域ごとに話し合えたらいい

4. 次回に向けて

担い手のいない地域での他生協の紹介について、学習会や研修会を一緒に開催したいなど多数の声があることから、実施に向けた検討をすすめていきます。

第10回九都県市合同防災訓練・図上訓練参加報告

1. 報告

首都圏における大規模な災害発生に備え、九都県市が合同で実施した図上訓練に参加しました。当日は、設定された災害状況、被害状況にもとづき、情報収集や救助活動、物資調達などのシミュレーションを行いました。埼玉県生協連は、この訓練とあわせて、埼玉県からの物資発注への対応訓練を行いました。



2. 開催概要

- (1) 日時 2020年1月21日(火) 9時00分～15時00分
- (2) 会場 埼玉県危機管理防災センター
- (3) 参加者 埼玉県災害対策本部に2人派遣、埼玉県生協連事務所1人待機
- (4) 災害設定・被害想定
発災時刻 1月20日(月)16時00分 震源 東京23区内 首都直下地震
地震の規模 マグニチュード7.3 震源の深さ 27Km
震度 埼玉県南部は6弱～6強 避難者数 43,452人(埼玉県)
帰宅困難者 約63万人

3. 訓練内容

- 訓練は、災害状況・被災状況に応じて必要な対応を進めるプレイヤー(埼玉県職員中止)と、プレイヤーに指示を与えるとともに、プレイヤーからの発信を受けて、物資手配や輸送、救急救命のシミュレーションをするコントローラーに分かれて行われました。
- 埼玉県生協連から参加した2人は、コントローラーとして参加しました。実施時間の中でプレイヤーに2件の指示を出す役割を担うとともに、プレイヤーからの問合せに応えました。また、埼玉県生協連事務所に待機する職員は、物資提供の依頼があった場合に、対策本部にいる職員からの発信を受けて、模擬的に会員生協へ対応に関する訓練を行いました。
- 今回の訓練の中では、プレイヤーから次の問合せがあり対応しました。

時間	内容	部署
10時20分	調達可能な物資の調査依頼	物流オペレーション部
11時15分	毛布手配の依頼	物流オペレーション部
13時55分	2L飲料水のケースに関する情報提供依頼	物流オペレーション部
14時25分	2L飲料水の輸送ができるか問合せ	物流オペレーション部
14時45分	2L飲料水の正式発注FAX受信	物流オペレーション部

※上記以外に、コントローラーとして2件の指示を発信しました。

4. 訓練を受けて今後の課題

- (1) 今回は日本生協連の「全国BCP(第5版)」を参考に、調達可能な物資のリストを作成しましたが、災害に備えて実際に調達できる可能性がある商品、その商品の荷姿や大きさのリストを会員生協とともに作成、メンテナンスすることが必要であると考えます。災害対策書の見直しとともに検討を行います。
- (2) 次年度の図上訓練には、埼玉県の訓練にあわせて独自に物資調達に関する図上訓練を実施することについて、検討を行います。

【1月16日第4回理事会報告事項】

2019年度埼玉県議会各会派との懇談会報告

2019年12月26日 埼玉県生協連

1. 報告の趣旨

- (1) 生協への理解を深め、意見交換を行う場として埼玉県議会4会派との懇談会を12月11日から12月19日に実施し、4会派30人の県議会議員が参加しました。
- (2) 未実施の2会派についても、引き続き懇談会を実施する方向で調整を継続します。

2. 報告の内容(掲載は実施日の順番です)

(1) 埼玉県議会自由民主党議員団役員との懇談

① 日時・場所・出席者

日時 2019年12月11日(水)17時30分～19時00分

場所 ロイヤルパインズホテル浦和5階「四季彩」

参加者

自民党県議団：小島信昭団長、岩崎宏副団長、武内政文副団長、田村琢実幹事長、諸井真英総務会長、木下高志政務調査会長

埼玉県生協連：吉川尚彦会長理事、大久保常務理事、大山常務理事、加藤

② 懇談内容の抜粋

- 生協の電気事業について
- 埼玉県が進めるLPWA通信網の活用について
- 埼玉県が進める人工知能の活用(AIプラットフォームづくり)について



(2) 無所属県民会議議員との懇談

① 日時・場所・出席者

日時 2019年12月16日(月)13時30分～14時30分

場所 埼玉県議会無所属県民会議控室

参加者

無所属県民会議：岡重夫県議、醍醐清県議、鈴木正人県議、井上航県議、石川忠義県議、並木正年県議、松坂善浩県議、江原久美子県議、杉田茂実県議、八子朋弘県議、柿沼貴志県議、平松大佑県議、岡村ゆり子県議

埼玉県生協連：吉川尚彦会長理事、大久保常務理事、加藤

② 懇談内容の抜粋

- 生協が取り組み、子どもの貧困対策について
- 和光市UR団地の買い物難民の現状と生協の取り組みについて
- 生協と自治会との関係づくりと可能性
- 消費者被害防止サポーターなどの地域での見守り体制について



12月26日第3回常務理事会→1月16日第4回理事会

(3) 埼玉県議会公明党議員団議員との懇談

① 日時・場所・出席者

日時 2019年12月18日(水)13時30分～14時00分

場所 埼玉県議会公明党議員団控室

参加者

公明党議員団：石渡豊県議、安藤友貴県議、西山淳次県議、権守幸男県議、橋詰昌児県議

埼玉県生協連：吉川尚彦会長理事、大久保常務理事、加藤

② 懇談内容の抜粋

- 生協が取り組み、子どもの貧困対策について
- フードバンクの取り組みと関わるボランティアの現状について
- 市民団体が行っている小動物保護の取り組みに対する生協ができる支援の可能性
- 消費者被害防止サポーターなどの地域での見守り体制について



(4) 日本共産党埼玉県議団議員との懇談

③ 日時・場所・出席者

日時 2019年12月19日(木)14時00分～15時00分

場所 日本共産党埼玉県議団控室

参加者

日本共産党埼玉県議団：柳下礼子県議、村岡正嗣県議、秋山文和県議、前原かづえ県議、守屋裕子県議、秋山もえ県議

埼玉県生協連：吉川尚彦会長理事、大久保常務理事、加藤

④ 懇談内容の抜粋

- CSF(豚熱)の風評被害を防ぐための取り組みについて
- 住民どおしの助け合い活動を続けるためのサポートについて
- 県行政における生協の位置づけについて
- フードバンクの取り組みをはじめとする貧困をなくす取り組みについて



「令和２年度埼玉県食品衛生監視指導計画（案）」に関する意見

２０１９年１２月２７日

埼玉県消費者団体連絡会

埼玉県および関係者の食の安全確保に向けた施策と取り組みに敬意を表します。

12月2日に公表されました「令和２年度埼玉県食品衛生監視指導計画（案）」について、食の安全に関する取り組みをさらに前進させる立場から、埼玉県消費者団体連絡会として意見を表明します。

1. 平成30年の食品衛生法改正により、HACCPに沿った衛生管理が義務化されます。食品事業者には中小事業者も多いことから、引き続き事業者向け講習会を実施するなど、実効性を高めるための支援をお願いします。また、食の安全確保は、HACCPに限らず、食品を利用する消費者の理解も必要です。HACCPについて、消費者にもわかりやすく伝える取り組みをお願いします。
2. 検査対象食品および検査項目と検査予定数（と畜場等を除く）の輸入食品における微生物検査件対数、理化学検査（食品添加物）の検体数・項目数が、昨年と比べて著しく減少していますが、その理由、背景について補足の記述が必要と考えます。
3. 庁内、その他の関係機関との連携確保は食品の安全を確保するうえでは重要であり、施策に計画されている内容をしっかり進めていただくことをお願いします。あわせて、人材の育成の観点からも、埼玉県とさいたま市、川越市、越谷市、川口市の密接な連携を施策として明示してください。
4. 「1.」でも触れましたが、食の安全確保においては、消費者も含めたリスクコミュニケーションが大切となります。「リスクコミュニケーションの推進」の中の「多様なリスクコミュニケーションの展開について」は、実施回数や参加規模等明示し、計画的に進めていただくようお願いします。また、生活協同組合など民間が持っている検査施設なども活用し、消費者教育の一環として、児童・生徒・学生を対象としたリスクコミュニケーションを積極的に進めていただくよう要望します。

以上

【ボランティア募集】被爆体験を子どもたちに伝える「親子企画」を創りませんか？

特定非営利活動法人
ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

2020 年 7 月に浦和コルソで開催される埼玉戦争展で、被爆体験を子どもたちに伝える親子向けイベントを開催します。このイベントの企画・運営に携わってくださるボランティアの方を募集しています。このプロジェクトには、埼玉県原爆被害者協議会の被爆者の方にもご参加いただきます。

親子企画のイメージ

小学生と保護者を対象に、親子で学び、考え、話し合い、それを「未来につなぐ被爆の記憶」専用サイトで発信する1時間の参加型のプログラムをつくります。

戦争展の来場者や親子企画参加者に「何を・どのように伝えるか」をボランティアの皆様と被爆者の方とで一緒に考え・つくっていきます。この過程自体が一つの継承の場です。被爆者の方から託されたバトンを次世代につないでいきましょう。

プログラムはオープニング・クロージングを10分、中身は50分とし、

- 1)クイズ形式で原爆を学ぶ(10分)
 - 2)被爆者のお話し(20分)
 - 3)感想を親子で話し合う(15分) * 親子に限らず隣の席の人と話し合うなど様々な方法が考えられる。
 - 4)感想を「未来につなぐ被爆の記憶」専用サイトに投稿する(5分)
- 構成を考えています。

ボランティアの募集要項

期間:約半年間(2020 年 2 月～8 月または 9 月まで)

頻度:月に1度(土日)、1.5～2 時間程度の打ち合わせ

ボランティアの内容

1)クイズコーナーの問題と解答づくり

原爆についての解説～いつ、どこで使われたか、どのくらいの方がなくなったか、熱線、爆風、放射線の被害など～をクイズ形式で学ぶことで導入部にしたいと考えています。この問題と解答を作ります。被爆者のお話の中には「建物疎開」など言葉だけではイメージが浮かばない言葉が出てきたりします。こうした部分をクイズにすることも考えています。

2)小学生向けのインタビュー形式の台本を作ります。

第 1 回打ち合わせで被爆者のお話をお聞きし、そのお話をベースにご本人と相談しながら 20 分のインタビュー形式の台本にしていきます。インタビュアーも小学校高学年～中学生ぐらいが務めるイメージで考えています。

3)当日の運営や準備など

条件:交通費実費支給(継承する会負担)

応募・お問い合わせ: hironaga8689@gmail.com

※件名:「戦争展親子企画ボランティアの件」お名前、年齢、ご連絡先を明記ください。

スケジュール(予定)

日時:2月29日(土)13~15時 場所:コーププラザ浦和3F 大会議室(2) アクセス https://shop-mirai.coopnet.or.jp/shop/saitama/coopplaza_urawa/	プロジェクトキックオフ・第1回打ち合わせ 7月の戦争展でお話いただく被爆者の方から被爆の体験、その後の暮らしについてお話をお聞きます。その後、参加者と被爆者で交流し、お話を聞いた感想を「未来につなぐ被爆の記憶」の専用サイトに登録します。
3月 3月以降の日程は2月のキックオフ・第1回打ち合わせのときに確認します。	証言の台本作り 小学生向けのインタビュー形式の台本を作ります。第1回打ち合わせで被爆者のお話をお聞きし、そのお話をベースにご本人と相談しながら20分のインタビュー形式の台本にしていきます。インタビュアーも小学校高学年~中学生ぐらいが務めるイメージで考えています。
4月	クイズコーナーの問題と解答づくり 原爆についての解説~いつ、どこで使われたか、どのくらいの方がなくなったか、熱線、爆風、放射線の被害など~をクイズ形式で学ぶことで導入部にしたいと考えています。この問題と解答を作ります。被爆者のお話の中には「建物疎開」など言葉だけではイメージが浮かばない言葉が出てきたりします。こうした部分をクイズにすることも考えています。 クイズ作り
5月	リハーサル①と補強修正 当日のスケジュール確認、準備、証言の台本、クイズコーナーのリハーサル
6月	リハーサル②と補強修正 本番向けリハーサル
7月	埼玉戦争展
8月 or 9月	プロジェクトの振り返り

《特定非営利活動法人 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会の紹介》

原爆被害の実相と、被爆者が遺してきた証言・記録・資料を収集、保存、普及、活用し、その記憶遺産の継承をめざす事業を行い、「ふたたび被爆者をつくるな」という願いの実現に寄与することを目的として、2012年に発足したNPO法人です。若いボランティアを中心に「継承」のための企画に取り組んでいます。

継承する会 HP: <http://kiokuisan.com/>

継承ブログ : <http://keishoblog.com/>

Twitter : <https://twitter.com/nomorehibakusha>

《未来につなぐ被爆の記憶プロジェクトと専用サイトについて》

未来につなぐ被爆の記憶プロジェクトについて

活動の目的

1. 被爆の証言資料や被爆者の思いをインターネットを使って発信すること
2. 活動を通して、被爆被害の実相と被爆者の生き方を学び、後世に伝えていく人を増やすこと

活動の概要

1. グループ（5～8人程度）で被爆者のお話を聞き、またその方が書かれた被爆体験記などを読み、お互いに感想を交流します。
2. お話の概要と参加者の感想を所定フォームに入力します。お話の詳細は、「継承する会」が所有・公開した手記・体験記へのリンクを貼ります。
3. 入力内容を公開すると、専用サイトの地図上に表示されます。これはインターネットを通じて、世界のどこからでも閲覧できます。

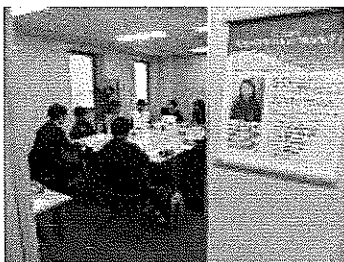


未来につなぐ被爆の記憶 PJ 専用サイトは以下の URL からご覧いただけます。

<http://nomore.apollo.io/cesium/>

《過去に実施してきた親子向け・被爆者や継承活動に取り組む方との交流企画》

11/2(土) 都内でミニ企画⑪「WHAT'S YOUR PEACE」 <http://keishoblog.com/?p=2856>



9/15(日)「未来につなぐ被爆の記憶 被爆者とともに語り継ぐ(京都)」 <http://keishoblog.com/?p=2817>



8/24(土) 南浦和で「夏休み親子企画 げんばくってな～に？」 <http://keishoblog.com/?p=2766>



6/29(土)ミニ企画⑩「朗読でつなぐ被爆の記憶」 <http://keishoblog.com/?p=2718>



以上

2019 年度埼玉県食品安全局と消費者団体の懇談会報告

2020 年 1 月 31 日 埼玉県消費者団体連絡会

1. 報告の趣旨

- (1) 埼玉県食品安全局と消費者団体の懇談会を、1.CSF(豚コレラ)について、2.HACCP に関する取り組みについて、3.埼玉県食品衛生監視指導計画についての 3 項目をテーマに開催しました。
- (2) 日時：2020 年 1 月 30 日（木）14 時～15 時 30 分
会場：埼玉県生協連会議室
出席者：埼玉県食品安全局 7 人
消費者団体 9 人（県婦連、新婦人、埼玉県生協連、さいたま市消団連、コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、埼玉消団連）

2. 報告の内容

- (1) はじめに、埼玉県消費者団体連絡会代表幹事の吉川および埼玉県食品安全局長の根岸章王さんからあいさつし、参加者より自己紹介をおこないました。
- (2) 懇談では、畜産安全課の平野さんから、CSF(豚コレラ)とは何か、埼玉県での CSF の発生とワクチンの接種状況について、1 月に接種対象の施設の初回接種が終了していることなど説明いただきました。この間、埼玉県で殺処分された豚は 7,621 頭にもものぼり、全体約 9 万頭の 8.4%にあたるとのことでした。消費者からは、CSF の発生原因について特定はされているのか、CSF の正しい表現について、ASF への対策について、豚を殺処分した畜産農家への支援について、万が一 CSF に感染した豚肉を食べても人体には影響がないとされているのに、殺処分するのはなぜかなどの質問がだされ、丁寧にお答えいただきました。次に、食品安全課の渋谷さんから、HACCP の推進に向けたとりくみについて説明いただきました。2021 年 5 月の経過措置期間終了までに、事業規模の大小に関わらず全施設（約 5 万施設）での導入を目指すとの説明に対し、小規模事業者である惣菜店や豆腐店での導入についてはどのようにアプローチしているのかなどの質問があり、具体的な事例で説明いただきました。最後に埼玉県の食品衛生監視指導計画についても渋谷さんに説明いただき、特に輸入食品対策での検体数が減っていることについて、前段で報告された HACCP の 5 万施設での導入やオリンピック関連の検査強化が理由であることなど説明いただきました。消費者から、職員の増員、特に獣医師の確保が大切であるとの意見も出されました。
- (3) 懇談終了後、埼玉消団連代表幹事の吉川より、食の安全・安心について消費者の理解を広げるために、リスクコミュニケーションの場が大変重要であり積み重ねていくことが必要である、また懇談の開催について改めてお礼を述べ、会を終了しました。



埼玉県生協連 2019 年度第 3 回活動委員会報告

日時	2019 年 12 月 12 日 (木) 14 時 30 分～16 時 30 分
場所	市民会館うらわ 7 階会議室
出欠	大久保 (委員長)、境・本多(コープみらい)、佐藤・石川(パルシステム埼玉)、 下川・中村 (生活クラブ)、高橋・牛渡[代理・村崎] (医療生協さいたま)、塩崎 (労済生協)、 <u>荒井(東都生協)</u> 埼玉県生協連：吉川会長理事、事務局＝加藤・清水桂・清水勤・青木 オブザーバー：大田(日本生協連中央地連) 下線欠席／敬称略

■議題

I. 話したいこと

1. 当日午前中から開催した 2019 年度組合員活動交流会に関するふりかえりを行いました。学習の内容が今後の活動の中で活かせるとの感想が参加者からあったと報告がありました。
2. 彩の国ドリームフェスタ(11/16-17)のふりかえりを行いました。クイズスタンプラリーは各テントをもれなく訪れる効果があること、企画内容のバッティングを防ぐために参加生協間での事前の打合せが必要であるなどの意見があり、次年度の企画に活かしていくことを確認しました。
3. 台風 19 号災害関連に関して、各生協の取り組みの交流を行いました。
4. 11-12 月活動報告書をもとに各委員から報告し、交流を行いました。

II. 日本生協連からの報告 (中央地連)

大田さんから、日本生協連、中央地連の報告や各種企画の呼びかけが報告されました。

III. 確認したいこと

1. 埼玉県生協連 2019 年度上期まとめと下期課題について報告し、確認しました。
2. 次年度の埼玉県消費者大会に関する報告(第 7 回実行委員会報告)を行い、実行委員会参加生協からの副実行委員長選出の可能性について確認しました。
3. 次の案内を確認し、参加を呼びかけました。
埼玉県食品安全局及び関東農政局との懇談、1/17 助け合い活動交流会、県内消費者団体地区別研修会、2/12JA 女性組織協議会との早春交流会
4. 2/28 第 2 回組合員学習会の日程、内容変更について報告し、確認しました。
5. 会員生協の地域社会づくりに関する定性情報、定量情報を把握するための集約項目について報告し意見交換を行いました。意見を受けて修正し、12 月から 1 月にかけて、あらためて報告することになりました。
6. 埼玉県生協連「情報」を 2020 年度から紙ベースからデータ配信に変更すること、埼玉県生協連ホームページリニューアルについて報告し、確認しました。

IV. 報告したいこと

1. 業務報告として、埼玉県生協連 11 月度のまとめと今後の課題を報告しました。
2. 個別報告として、次の項目を報告しました。
3 都県連共催「福祉事業公開学習会」(10/11)報告、第 2 回災害対策委員会(10/31)報告、埼玉県委託事業埼玉県生協役職員研修会(11/21)報告、第 55 回埼玉県消費者大会埼玉県との懇談会(11/28)報告、市町村における消費生活関連事業調査報告、ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会(11/6)報告、ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会の取り組みについて

V. 報告したいこと②文書報告

1. 文書報告として次の報告を行いました。
埼玉県生協連 2019 年度第 2 回活動委員会(10/17)報告、埼玉県生協連 2019 年度第 3 回理事会(11/21)報告、市民新電力「彩の国でんき」(仮称)設立をめざす集いご案内、活動日誌と予定

最後に、次回の活動委員会日程を確認して終了しました。次回の第 4 回活動委員会は、2 月 14 日(木)13 時 30 分から埼玉県生協連会議室で行います。

埼玉県生活協同組合連合会第4回理事会報告

1. 日時・会場 2020年1月16日(木) 15時30分～17時07分 埼玉県生協連会議室
2. 出席者
(出席理事) 理事総数15人中14人出席
吉川理事、大久保理事、大山理事、境理事、横山理事、長妻理事、重盛理事、木下理事、齊藤理事、丸山理事、柳川理事、土屋理事、後藤理事、河本理事
(出席監事) 監事総数3人中3人出席 高藤監事、奥野監事、佐々木監事
議長 大山理事 書記 加藤
なお、オブザーバーとして、埼玉県労働者共済生協の和田潤さんが参加しました。

I. 議決事項

- 第1号議案 埼玉県生協連第49回通常総会の開催日時、会場および付議事項の件
大山克己議長が、埼玉県生協連第49回通常総会の開催日時、会場および付議事項について諮ったところ全員異議なく議決されました。

II. 協議事項 次のことを吉川会長より報告し、協議を行いました。

1. 第49回通常総会に向けたスケジュールについて
 2. 第49回通常総会における役員補充選任の進め方について
 3. 2019年度事業活動報告(1次案)と2020年度事業活動計画(1次案)
 4. 2020年度年間日程(1次案)
 5. 埼玉県生協連規程類の一部変更と新設について
- なお、2019年度事業活動報告(1次案)、2020年度事業活動計画(1次案)、埼玉県生協連規程類の一部変更と新設について、理事から意見がありました。

III. 報告事項 次のことを吉川会長より報告し、確認しました。

1. 専務理事報告
①2020年新春賀詞交換会関連、②埼玉県生協連11・12月度のまとめと今後の課題、③日本生協連2019年台風19号被害緊急支援募金贈呈式報告
2. 個別報告
①第2回組合員学習会ご案内、②第25回JA埼玉県女性組織協議会との早春交流会ご案内、③埼玉県生協連学習会・交流会等日程およびテーマ(案)一覧、④埼玉県食品安全局との懇談と関東農政局意見交換会について、⑤次年度の埼玉県消費者大会に関する報告(第7回実行委員会報告)、⑥埼玉新聞「生協特集」(2020年3月予定)企画案、⑦埼玉県生協連メルマガ「information」(仮称)について、⑧埼玉県生協連ホームページリニューアル(12/26実施)について、⑨組合員活動交流会報告(12/12開催)
3. その他の報告
①埼玉県議会会派との懇談報告、②2020年度埼玉県食品衛生監視指導計画(案)に対する意見、③消費者アップ学習会Vol.3「高齢者施設の選び方」

IV. 監事会報告 2019年度第4回監事会について文書で報告し、確認しました。

V. 文書報告 次のことを大山議長より、事前通知事項として報告し、確認しました。

- ①2019年度第3回理事会議事録、②第3回活動委員会報告(12/12開催)、③市民と行政がともに学ぶエコ・リサイクル交流集会案内、④ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会の取り組みについて、④活動日誌

次回の第5回理事会は、3月12日(木)15時から埼玉県生協連会議室で行います。

埼玉県生協連 2020(令和2)年新春賀詞交換会報告

2020年1月16日 埼玉県生協連

埼玉県生協連への日頃のご厚情に感謝を伝えるとともに、出席者との懇談やネットワークづくりの場、会員生協への理解を広げ、生協の認知度をアップする場と位置づけて、2020(令和2)年新春賀詞交換会を開催しました。大野知事をはじめ、各界を代表する皆様64人に出席いただきました。



1. 開催概要

日時 2020年1月16日(木) 18時00分～19時45分
会場 ロイヤルパインズホテル浦和3階「ゴールドルーム」
参加者 県行政・県議会6人、友誼団体18人、報道各社2人、消費者団体9人
日本生協連2人、埼玉県生協連役員・会員生協27人 合計64人

2. 内容

- (1) 開会にあたり、主催者あいさつを吉川会長理事から行いました。出席者の皆さんに感謝を伝えるとともに、台風19号災害に対して、全国の生協から寄せられた募金について触れ「改めて生協の助け合いの精神、組合員のお互いさまの気持ちを実感することができた」と話しました。その後、スライドを使用して埼玉県生協連や県内生協の紹介、行政や諸団体と連携した取り組み事例を報告しました。
- (2) 埼玉県行政を代表して大野元裕知事、埼玉県議会を代表して神尾高善議長よりごあいさつをいただきました。大野元裕知事はあいさつの中で「生協連の皆さんには埼玉県民の安全と安心、食の安全や環境問題に対する取り組みをされていることに感謝します。SDGsは生協が取り組んでいた中身そのものです。誰ひとり取り残さない、ともに共生する社会づくりに力を貸していただき、日本一住みやすい埼玉県を目指していきたいと思います」と話されました。
- (3) また、埼玉県議会各会派、各界を代表する7人の皆様からもごあいさつをいただきました。ごあいさつをいただいた方は次のとおりです。無所属県民会議：醍醐清県議、埼玉県議会公明党議員団：西山淳次県議、日本共産党埼玉県議会議員団：秋山もえ県議、JA埼玉県中央会：永島朗専務理事、NPO法人埼玉消費者被害をなくす会：池本誠司理事長、埼玉県原爆被害者協議会：田中熙巳会長
- (4) 最後に、横山常務理事による閉会あいさつを行い、終了しました。
- (5) 参加者からは「会場が大きさが丁度よく、交流が進んだ」「テーブルの振り分けが変わって、たくさんの方とお話しできた」などの良かったとする意見がありました。反面「食べ切りに関するアナウンスがあった方が良かったのではないか」「立食にすることも検討した方が良いのではないか」などの改善に関する意見もいただきました。次年度の開催に向けて、事務局で検討を行います。

